

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
推進校実施報告書

1 学校名：熊本県立八代東高等学校

2 実施日時：2018（平成 30）年 12 月 10 日（月）13：40-15：30

3 対象：生徒 381 名（全校）

4 派遣パラリンピアン：三阪 洋行 さん

（ウィルチェアラグビー アテネ大会、北京大会、ロンドン大会 出場）

5 授業内容：講演

2018（平成 30）年 12 月 10 日（月）に、熊本県立八代東高等学校にて、ウィルチェアラグビーのパラリンピアンである三阪洋行さんの講演が行われました。

「パラスポーツの可能性～パラリンピックが教えてくれたこと」というテーマで行われた講演において、三阪さんは、自らのウィルチェアラグビーの経験を振り返りながら、生徒達がこれから生きていくうえで大切にしたいこととお話されました。

講演に先立って、三阪さんから、自己紹介とともに映像を用いてウィルチェアラグビーの紹介が行われました。三阪さんによれば、ウィルチェアラグビーはラグビーと比較して、人数や実施場所、ボールなどの違う点がある一方で、タックルなどの激しいコンタクトプレーは同じであるそうです。そして、実際にウィルチェアラグビーの激しさを体験してもらうために、その場で選ばれた生徒 4 名と先生 1 名にウィルチェアラグビー用の車いすに乗ってもらい、三阪さんのタックルを受ける体験を行いました。車いすに乗った生徒は恐る恐る三阪さんと対峙している様子でした。そして、実際に三阪さんがとても速いスピードで生徒の乗る車いすに向かっていき、「ガチャン！」という大きな音とともにタックルを受けた生徒の乗る車いすが後ろに飛ばされたりその場で回転したりすると、見ている生徒から大きな歓声が上がっていました。車いすに乗ってタックルを受ける体験をした生徒は、「楽しかったけど、恐かった」、「ビックリした」、「スリルがあった」などの感想を述べていました。

続いて、三阪さんの講演が行われました。ラグビーが盛んな東大阪で育った三阪さんは、小学生の頃からラグビーを始めました。しかし、高校生のときに、ラグビーの練習中に首の骨を折るケガを負ってしまいました。ケガの治療を終えてリハビリを始める頃には、「自分の体が元に戻るのか」という不安と何も見えない未来への不安からとても苦しい日々を送っていました。そのため、見舞いに来る友だちが発する励ましの言葉も素直に受け止めることができず、少しずつ自分を閉ざすようになっていきました。さらに実際にリハビリが始まると、もう歩くことができないことを改めて認識し、なかなか前向きになることができずにいました。そんなときに、リハビリの先生からウィルチェアラグビーを紹介されました。先生から「明日ウィルチェアラグビーの DVD を持ってくる」と言われた夜は、ケガを負って以後、初めてワクワクして寝られなくなりました。そして、実際にウィルチェアラグビーの映像を見ると、これまでやっていたラグビーと同じくらい激しいスポーツであることを知り、すぐにやってみたいと思いました。さらに、ウィルチェアラグビーのクラブチームに入ると、そこには同じような障がいを持った人たちが仕事をしたり、家庭を持ちながらウィルチェアラグビーをしている姿があり

ました。このような仲間の存在によって三阪さんも「障がい者」として生きていく決意ができました。そして、三阪さんにとって大きな転機が訪れます。それがニュージーランドへの留学です。もちろん不安で行くか相当悩んだそうですが、最後は「自分を変えたい」という思いで挑戦してみようと決意しました。ニュージーランドでの生活は、とても大変だけど充実しており、初めて自分の可能性を広げる挑戦をしていると感じることができたそうです。帰国後、アテネ大会のメンバーに選ばれ、そこから4回もパラリンピックに出場することになりました。それぞれの大会を通して、チームスポーツだからこそ自分のことだけでなく他人のことも考える必要があることや、大事なタイミングで全力を出すことの難しさなどを学びました。そして、これらの経験を生かしてリオデジャネイロ大会から日本代表のアシスタントコーチとしてチームを支える役割を担っています。

最後に三阪さんは、このようなウィルチェアラグビーとの出会いからパラリンピック大会への出場までの経験を通して学んだ、「『できない』じゃなくて『どうすればできる』」、「違いはコンプレックスではなく個性」、「自分だけの夢を見つける」という3つのことを大切にしてほしい、と伝えられました。

講演終了後には、代表生徒からの謝辞があり、散会となりました。

6 授業の様子



【 自己紹介 】



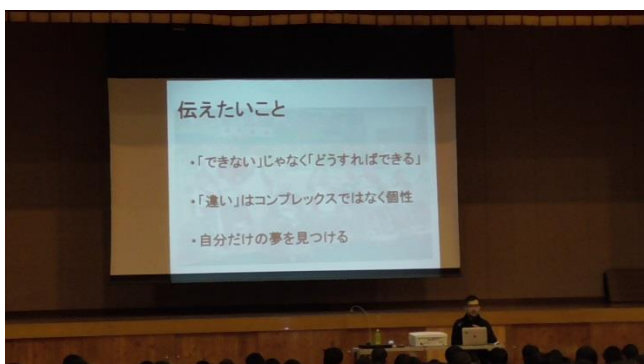
【 ウィルチェアラグビーの紹介 】



【 タックルの仕方の説明 】



【 車いすでのタックル体験 】



【 講演のまとめ 】



【 代表生徒の挨拶 】